

## 令和2年度 授業アンケート(学生による授業評価) 報告

東海学院大学短期大学部 教育研究開発センター

東海学院大学短期大学部では、「授業の内容及び方法の改善」として、「学内一般公開相互参観」と共に、学生による授業アンケートを実施しています。毎年アンケート項目を点検、改善をしながら、無記名によるアンケートを実施しています。学生による授業評価や学生自身の学習への取り組みを評価する項目を設けています。半期内での授業改善に繋げるために、10週目までに調査を行い、その後の学生へのフィードバックや授業改善に取り組んでいます。

### 授業アンケート回答学生数および回答率

#### 【令和2年度前期】

表1 専任教員担当の授業

授業数	1授業あたりの回答学生数 (平均)	履修者数に対する回答率 (平均)
18	20.2	88.8%

学生の有効回答数:363

表2 非常勤教員担当の授業

授業数	1授業あたりの回答学生数 (平均)	履修者数に対する回答率 (平均)
4	23.3	92.1%

学生の有効回答数:93

#### 【令和2年度後期】

表3 専任教員担当の授業

授業数	1授業あたりの回答学生数 (平均)	履修者数に対する回答率 (平均)
14	21.2	83.4%

学生の有効回答数:297

表4 非常勤教員担当の授業

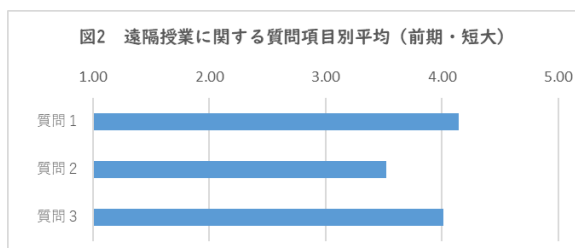
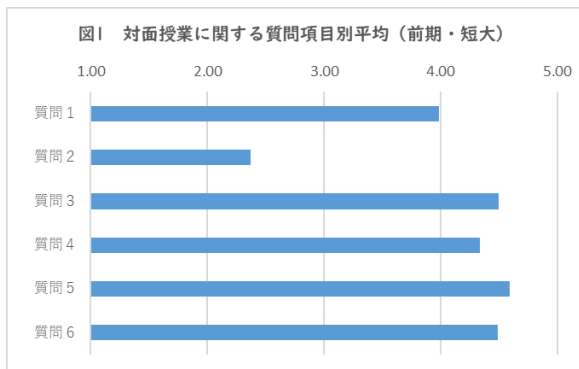
授業数	1授業あたりの回答学生数 (平均)	履修者数に対する回答率 (平均)
6	18.0	82.4%

学生の有効回答数:108

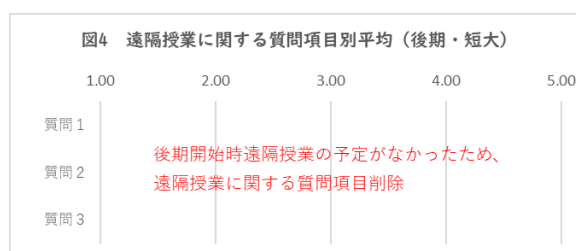
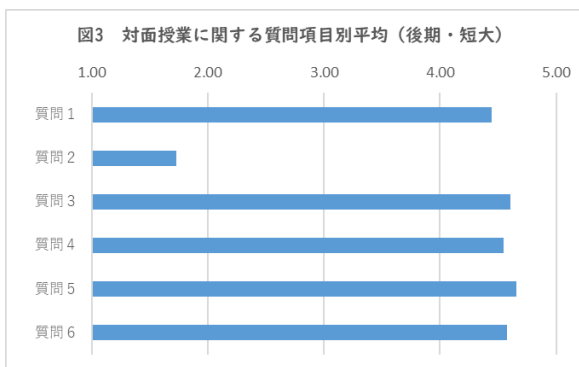
コロナ禍に実施された全学でのオンライン授業に対応するため、前期では対面授業と遠隔授業の別に質問項目を設けました。遠隔授業を通じて、学生は「授業内容を理解できた」、「対面授業を基準に十分な学習ができた」と回答しました(図2)。対面授業について、前期は「1回の予習・復習、レポート作成などに費やした時間は平均2時間以上3時間未満であり、「授業では、重要なポイントが示されていた」との回答が得られました(図1および図3)。後期は、「1回の予習・復習、レポート作成などに費やした時間は2時間未満に減少した。こうした点も踏まえて、各教員は、担当科目への評価結果に基づく授業改善に取り組み、学期末には、改善活動について振り返り、今後の改善方針を報告しています。

### 専任教員担当の質問項目別平均

#### 【令和2年度前期】



#### 【令和2年度後期】



#### 対面授業に関する質問項目(図1、図3)

- 質問1:授業欠席回数
- 質問2:予習復習などに費やした時間
- 質問3:授業で重要なポイントが示されていたか
- 質問4:より学習したいと感じたか
- 質問5:聞き取りやすかったか
- 質問6:質問や意見が述べられやすかったか

#### 遠隔授業に関する質問項目(図2、図4)

- 質問1:授業内容を理解できたか
- 質問2:授業を通じて教員とやりとりはできたか
- 質問3:対面授業を基準に十分な学習ができたか

注)質問1および質問2は欠席回数や学習時間を具体的に示した選択肢を用意した項目である。値の大きい方が望ましい方向(欠席が少ない,学習時間が長い)である。